

令和7年度 地域連携推進会議議事録

1. 事業所名 障害者支援施設「第二たちばな学園」
2. 日時 令和8年3月25日(水) 10時～11時30分
3. 場所 第二たちばな学園 食堂
4. 出欠

地域の関係者	3名
利用者	1名
利用者家族	1名
事業所職員	3名(管理者・サービス管理責任者・生活支援員)
その他法人職員	1名
・出席者	合計 9名
・欠席者	なし
5. 議題

第1号	地域連携推進会議の概要について
第2号	社会福祉法人たちばな会及び第二たちばな学園の概要について
第3号	意見交換

定刻、事務局が開会を宣し、次第に沿って進行に入った。

管理者の挨拶の後、事務局から出席者の紹介と各自より自己紹介があった。

事務局進行により議題に入った。

第1号 地域連携推進会議の概要について

事務局から資料に口頭で内容を付け加えながら今回の地域連携推進会議の目的や内容について説明があった。日本各地で福祉施設の不祥事があることも加えて報告され、地域の方や家族など第三者の目を入れることで透明性を確保し不正防止につなげたい旨を場に伝えた。

特に質問等はなく、議題第1号を終えた。

第2号 社会福祉法人たちばな会及び第二たちばな学園の概要について

事務局から資料を基に説明が行われた。

特に質問等はなく、議題第2号を終えた。

第3号 意見交換

地域の関係者 施設内で虐待があったなどと報道で目にする。ここではないと思うが、逆

に施設利用者からの暴力などは実際あったりするのかな。

事業所 出席者を見渡すと言にくいですが、あります。骨折に至ったケースもあります。労災として扱われますが、本人は痛いですね。ただ、そのような行動があることを念頭に支援にあたるべきであり、その行動の原因も探らなければいけません。再発防止も含めて。

地域の関係者 それで退所になったりは。

事業所 余程生命に関わるようなことがない限り退所をお願いすることはないです。こちらは最後の受け皿と思っています。当然、家庭での養護は無理でしょう。

地域の関係者 退所されるケースは。

事業所 まずは医療的な支援が特に必要になった場合です。また、ここの利用は契約によって成り立っているのです、本人からの申し出があった場合です。

地域の関係者 たちばな学園が第一と第二に分かれた際に、夏祭りなどを五町田の第一たちばな学園でされるようになって地域とのつながりが減った。何かしら交流できないか。

事業所 そうですね。検討します。

地域の関係者 老人施設では月に 10 万円以上かかることもある。こちらでは。

事業所 入所されている方は皆さん障害年金を受給されています。その中で十分入所費用は賄えます。また、年金から幾分残るように補足給付費が支給されています。その中で被服費や娯楽費に支出してもらっています。

地域の関係者 こちらは大人だけの施設ですか。

事業所 原則 18 歳以上の方がご利用です。

保護者 うちの 17 歳から入所している。いろいろ迷惑かけているがお世話になっている。

利用者 外出が好きです。ご飯がおいしいです。

事業所 ここは浸水区域ではない。災害時はここに留まります。食料品などの備蓄は十分にあります。近隣の方で指定の避難所に行くことが困難な場合、ここに避難されても構いません。

その他、意見を募ったが特になく、議題第 3 号を終えた。

この後、施設内の見学を行うことを伝え、一旦の会議の終了を宣した。

一同、見学後 11 時 30 分散会した。